

平成27年度地域環境美化功績者表彰実施要領

1. 目的

平成27年度環境月間行事の一環として、地域における環境の美化に関し特に顕著な功績のあった者（団体を含む。以下同じ。）に対し、その功績をたたえるため、表彰を行う。

2. 表彰者

環境大臣

3. 表彰の対象者

多年にわたり、緑化、浄化、清掃等地域における環境の美化活動に努め、特に顕著な功績のあった者。

4. 表彰の方法

表彰状及び記念品を授与して行う。

5. 表彰の月日

平成27年6月10日（予定）

6. 被表彰者の決定手続

被表彰者は、都道府県又は政令指定都市の長及び地方環境事務所長から推薦があった者につき、省内の審査を経て、環境大臣が決定する。

7. その他

環境大臣は特に必要と認めるときは、新たに部門を設け、表彰を行うことができる。
この場合、当該部門に係る表彰の実施要領は、別に定めるものとする。

平成27年度地域環境美化功績者表彰の推薦基準

1. 表彰の対象となる活動（以下「対象活動」という。）は、次に掲げるものであって、その活動が他の模範となり、推奨できるものであること。
 - ① 植樹、植栽等の緑化運動
 - ② 河川、湖沼、海岸等の浄化活動
 - ③ 公園、道路等の清掃活動
 - ④ 緑化、浄化、清掃その他の美化思想の普及啓発活動
 - ⑤ その他前各号に準ずる地域環境美化に関する活動
2. 対象活動を行った期間が、次に掲げる期間以上であること。
 - (1) 個人にあつては、概ね10年間
 - (2) 団体にあつては、概ね7年間
 - (3) 団体の連合体である団体にあつては、構成員である団体が当該連合体の設立以前に行った期間を通算して概ね7年間
3. 個人にあつては、原則として年齢が満50歳以上であること。
4. 団体にあつては、対象活動が将来にわたり継続する見込みであること。
5. 原則として、同一事由による都道府県又は政令指定都市の長の表彰を受けたことがあること。
6. 勲章受章者及び同一事由による褒章受章者は、表彰の対象としない。
7. 同一の功績についてすでに他の表彰制度による環境大臣（環境庁長官）の表彰を受けている者は、表彰の対象としない。
8. 一の推薦者から推薦することができる被推薦者の数は、2者（団体含む）までとする。